

# 冬という 季節の準備



冬が近づくと、動物も植物もそれぞれにふさわしい冬支度を始めます。自然界の不思議な摂理です。植物は晩秋になり気温が下がってくると、体内に凍りにくい物質、人が食べると甘く感じる糖質などが増え冬に備えます。ところが、夏に急に低温になる冷害が起きると、低温に対する準備ができていないために、枯れてしまいます。

人の世界においても冬がやってきます。年を重ねると病気やけがが増えるようになり、しばしば人生の冬の季節に例えられます。必ずやってくるものなのに、どのように用意すればよいかわからず戸惑います。聖書には『蟻は力のないものたちだが、夏のうちに食糧を確保する。』と書かれています。聖書から人生の冬に備えるべきことを学びたいものです。

Oh! Happy Day

たまらなく孤独でした



まつば まつこ  
松葉 未子

私が職場のクリスチャンの方に誘われ教会に集うようになったのは、入社して二年が過ぎた頃です。それまでの私は、ごく普通の家庭環境に育ち友人関係においても問題なく過ごしていました。しかし、内気で臆病な性格の私は、人に嫌われないよう無理をして人に同調し、良い人を装っていたように思います。ですから、一人になると誰にも自分のことを理解してもらえないという不満と、言いようのない孤独感が心の内を占め、自分の存在や生きていくことの意味について深く考えるようになりました。しかし、どこにも解決はありません。そんな思いを引きずったまま社会人としての生活に入りましたが、世の中の矛盾や自分の内にある矛盾にも納得できない心の葛藤の

中で、仕事も手に付かないほどの精神不安定に陥りました。そんな時、教会に誘われていたことをふと思い出し、それまで自分には全く縁のない別世界だと偏見視していたキリスト教会に、初めて足を運ぶことになりました。そこは体験したことのない温かさを感じる場所で、その日、私はイエス・キリストを救い主と信じ受け入れることができました。ずっと探し求めていたものがここにあった、という喜びと深い安堵感に満たされたのです。聖書の神は人の創造主であり真の理解者です。イエス・キリストを通して創造主との正しい関係を保つ者とされた人生は前向きに進んでいく力に満たされます。『見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます』（聖書）